

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2025 年度 第 3 回 キャリア委員会
書面審議結果

日 時：2025 年 11 月 21 日（金）持ち回り開催

回答期限：2025 年 11 月 28 日（金）正午

委 員 校：関西学院大学（委員長校）

関西福祉大学（副委員長校）、甲南女子大学（副委員長校）、神戸国際大学（副委員長校）
芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院短期大学、甲南大学
神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭大学
神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園大学、宝塚医療大学、兵庫大学
兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

計 23 大学

I. 協議事項

1. 2025 年度キャリア委員会自己評価（案）について（資料 1）

II. 懇談事項

1. 「大学キャリア教職員と企業人事担当者等との情報交換会・懇親会(案)」について
（資料 2）

III. 報告事項

1. 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて（資料 3）
2. 「産・学・官でつなぐ ライフロングキャリア共創セッション」について（資料 4）
3. 「ひょうご留学生インターンシップ」について（資料 5）
4. 「尼崎市」大学生等向けオープンカンパニー(インターンシップ等推進事業)（資料 6）

■協議結果

- I.1. メール審議の結果、異議なく承認された。

■懇談事項

- II.2 各委員から頂いたご意見を元に第 4 回キャリア委員会で審議、継続懇談する。

<主なご意見>

○キャリア委員会と同日開催は、負担が大きい気がしなくもないですが、特に他大学から意見は出ていませんか？（芦屋大学）

○ご提案いただいた内容に異論はないが、情報交換会は 1 グループ 10 人程度で構成されて 15 分単位で席を移動するのであれば、ゆっくりと情報交換できるかが危惧される。（名刺交換程度の交流を予定されているのであれば、問題ありません。） また、短時間での 6 回の入れ替えについてもあわただしく感じるため、回数を少なくし、1 回あたりの時間をもう少し長くしてはどうかと思う。

（関西学院大学）

○現在の就職活動状況、特に「超売り手市場の継続、および本学学生の「安定志向」「ワークライフバランス志向」の高まりに鑑み、より実効性の高い情報交換の場とするため、以下のとおりご提案します。

単なる懇親でなく、具体的な課題を共有する場の重要性

「テーマ別ディスカッション（座談会）」について

＊テーマを「女子大学生のキャリア観の変化と安定志向への対応策」「大企業や公務員志向が高まる中、筆記試験突破への対応策」など、本学学生が抱える具体的な悩みや懸念に焦点を絞ることで、議論自体も明確になる。

＊少人数グループでのディスカッションにより、大学のキャリア担当および企業の人事担当双方にとって学びがあり、より実りのある意見交換の場が実現することを期待します。

これまでも、テーマに沿ったフォーラムなど開催していただきましたが、対象が定まらず広範囲すぎるため、実務的なレベルに達していないように感じました。

以上、よろしくお願いいたします。（甲南女子大学）

○アイデアや改善点につきましては、特に意見はございませんが、情報交換会の運営に関してご提案がございます。

前半の情報交換会におきましては、1グループ8～10名で15分間の席替えという形式ですと自己紹介のみで時間が経過してしまう可能性がございます。限られた時間内で効率的な情報交換を実施するため、情報交換のテーマや内容を具体的にご指定いただくか、あるいは複数のテーマをご用意いただき、各グループで選択できるようにするなどの工夫をご検討いただければ幸いです。

もし、情報交換会の目的が自己紹介や顔合わせでしたら上記の提案はご放棄いただきますようお願いいたします。（神戸学院大学）

○昨年度まで開催されていた会合に過去4回参加させていただきましたが、参加校の学長クラスがご出席され、席上、各学長の紹介がある都度、会場が沸き立ち、盛り上がりを見せるなど他の団体主催の会合では味わえない高貴な情報交換会だっただけに、今年は中止とのことで、残念に思っています。

本学でも、学長が出席されるとなると、同行するメンバーもそれなりに人選（私ごときの他に次長やキャリア部会長の教授の参加など）していて、おそらくは他大学様も幹部クラスを人選して同席させるので、出席の企業側も相手を意識したクラスを吟味して人選をすることとなるので、この業界の会合としては神戸では非常にハイクラスな会合であると認識しています。また、乾杯前の学生の活動報告はいつでも中身が濃く、プレゼンもメンバー全員参加で行い、内容もよく練られていて、企業もコメントされるなど出席者にとって、感心する発表であると同時に、参加する学生も県、神戸市の主要大学の学長以下が傾聴することにやりがいを感じていただろうと想像しています。このように、この業界では随意と言ってよい情報交換会は、経費や時期の問題等あるかと思いますが、ご事情が許せば継続されることを望みます。

経費を考慮するなら、会場・飲食の中身（ポートピア様には悪いのですが、一流ホテルではなくても良いのでは、アルコールやオードブルではなく、ティーパーティー程度にするなど）の見直しも一考かと。各大学や企業持ち回りで保有の体育館、会議場を借りることも一策かと思えます。企業、大学は大仰な設備を所有しているはずです。上記は、「現在の方式を踏襲する」ことを前提で記しましたが、本来の趣旨であります「大学キャリア教職員と企業人事担当者等との情報交換会」という方式に則れば、学長や企業役員の出席を求めず、「キャリアセンターと人事担当の交流会」という形式で実施されることも一考かと思えます。

神戸では、市、商工会議所や県雇用開発協会が同様の会合を開催しておられますが、コンソの特性を活かして、他にはない国際色豊かな会合にしていいただければ独自色も出ますし、本学の望む会合になると思っています。(以前行われていた淡路の企業様だけではやや物足りなさを感じました)何れにせよ、コンソーシアムひょうご神戸として、キャリア委員会を招集されておられるからには、何らかの形で企業様との交流会は継続していただくことを期待しています。私自身最後の機会ですので、敢えて個人的な意見を述べさせていただきました。

(神戸市外国語大学)

○ご挨拶、顔つなぎの場として、後日、大学を訪問してくださる企業様もおられるので、開催の意義は確かにありますが、あちらこちらで似たような機会が設けられており、正直、またいつものパターンかと思ってしまう面もあります。今回は、大学が希望企業を事前に選ぶということのようですが、そうであれば、企業様の採用の軸を事前にある程度情報をいただければありがたいです。女子大から共学に変わったばかりの小規模文系大学ですと、テーブル固定の同じような形式の情報交換会に参加させていただくと、ご挨拶を交わした後に、互いに少々ニーズが違いますね的な、なんとも間が持たない雰囲気になることが少なからずありました。

採用したい学生が、専門性を問う職種(工学や理系が想定)、男子学生向けの職種、全国転勤ありの総合職、営業がメインである場合などは、企業を選ぶ際の情報として事前にお知らせいただくとありがたいです。(神戸松蔭大学)

○情報交換会(指定席)と懇親会(自由席)の時間配分について、本学としては懇親会(自由席)をもう少し長めに取っていただけるとありがたいです。(神戸親和大学)

○・開催形式について

まだ具体的なイメージがつかめず、うまくアイデアが出せずすみません。内容を詰め込みすぎると情報交換が浅くなるのではと少し心配ですが、ご挨拶が目的であれば問題ないと思います。

・グループについて

人数だけでなく、大学数や企業数の配置が分かるとイメージしやすいです。複数大学でのグループでは、情報が大学ごとに異なることもあり、以前は他大学のやり取りを聞くだけの時間が長くなるケースもありました。その後、ご対応が難しいなかに改めてご訪問をいただくことも多かったように思います。

・企業様からの資料について

パンフレットや求人票を大量にお預かりするのは双方に負担が大きいと感じます。以前、分厚い社史をいただいた際には学生が手に取ることがほとんどありませんでした。郵送やデータでいただくと学内での展開もしやすく助かります。

見間違いでしたら申し訳ございません。起案・ご準備いただきありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。(神戸大学)

○以前淡路商工会議所の企業との情報交換会の際は、複数の企業・大学で懇談しましたが、企業・大学ごとの発言時間に長短が生まれ、情報交換しにくかった記憶があります。企業・大学は1対1という形にするほうが良いと個人的には感じますが、難しければご放念ください。時間を区切って情報交換する方法は良いと思います。(甲南大学)

以上